

●**地方圏の出勤率は大幅に低下**

実際に感染状況が厳しい地域の出勤率をみると、例えば徳島では、直近の減少率がコロナ禍始まって以来の水準となっている（図表4）。

東京や大阪を含む大多数の地域では、今でも感染第1波（20年4～5月）が最大の減少率であるが、徳島や宮崎などでは直近で過去最大を更新している。

結果として、直近の地方圏の出勤率は大阪等とも変わらない水準にあるが、地方圏の企業が都市部並みにテレワーク関連の設備を備えているとは考えにくい。

実態としては、陽性者や濃厚接触者の増加が、出勤率の押し下げにつながっている可能性があるだろう。想定以上の出勤率の低下は企業活動への影響も大きいだけに、楽観視はできない。

大阪や東京では感染がピークアウトする兆しもある中、まだ地方圏では拡大の動きが続いている。医療体制への影響はもちろんのこと、出勤率のさらなる低下には注意が必要といえよう。



本件照会先：大阪本社 荒木秀之
TEL : 06-6258-8805 mail : hd-araki@rri.co.jp

※本稿は情報提供が目的であり、商品取引を勧誘するものではありません。また、本稿は当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。なお、本稿に記載された内容は執筆時点でのものであり、今後予告なしに変更されることがあります。